













野菜の生育状況及び価格見通し（平成25年11月）について  
 （東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品目	現在の生育状況
根菜類 （だいこん、にんじん）	だいこんの生育は概ね順調。台風26号の影響により、にんじんは冠水による品質低下。
葉茎菜類 （はくさい、キャベツ等）	生育は概ね順調。ただし、台風26号の影響により、ねぎは冠水による品質低下、レタスは葉傷み等による生育遅延。
果菜類 （きゅうり、なす等）	トマトの生育は概ね順調。きゅうり、なす、ピーマンについては、10月中下旬の曇天等の影響を受けて生育遅延。
土物類 （ばれいしょ、さといも等）	生育は順調。ただし、たまねぎは生育期（6～7月）の少雨による小玉傾向。

品目	主産県 ※（ ）書きは 昨年11月の 入荷シェア。	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し	
			11月前半	11月後半
だいこん	千葉(66%) 神奈川(17%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風26号の影響で葉傷み等があったものの、影響は軽微であり、生育は回復傾向にあることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> <li>ただし、気温の低下により、鍋需要が高まれば、価格が上昇する可能性。</li> </ul>	→	→
にんじん	北海道(41%) 千葉(39%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県では、台風26号の影響によりほ場が冠水し、品質低下していることから、<u>前半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る</u>見込み。</li> <li>後半は、生育が回復し、<u>出荷数量、価格ともに平年並</u>になる見込み。</li> <li>ただし、今後、冠水の影響により病害等の発生が拡大すれば、高値が続く可能性。</li> </ul>	↗	→

はくさい	茨城(88%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風26号の影響で葉傷み等があったものの、影響は軽微であり、生育は回復傾向にあることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> <li>・ただし、気温の低下により、鍋需要が高まれば、価格が上昇する可能性。</li> </ul>	→	→
キャベツ	千葉(43%) 愛知(23%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風26号の影響で葉傷み等があったものの、影響は軽微であり、生育は回復傾向にあることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>	→	→
ほうれんそう	群馬(43%) 茨城(14%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風26号の影響は軽微であり、生育は概ね順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>	→	→
ねぎ	青森(15%) 茨城(14%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主産地の東北地方では、台風26号の影響は軽微であり、生育は概ね順調であることから、<u>前半は、出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> <li>・後半は、東北が終盤を迎える中で、後続の千葉県で、台風26号の影響によりほ場が冠水し、品質低下していることから、<u>出荷数量が減少し、価格は平年を上回る見込み。</u></li> </ul>	→	↗
レタス	茨城(69%) 兵庫(10%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県では、台風26号の影響で葉痛み等があり、品質低下していることから、<u>前半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></li> <li>・後半は、生育が回復し、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u>になる見込み。</li> </ul>	↗	→

きゅうり	埼玉(33%) 宮崎(21%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風26号の影響は軽微であったものの、10月中旬以降の曇天等の影響により、<u>前半は、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></li> <li>・後半は、宮崎県で出荷が本格化することから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></li> </ul>		
なす	高知(59%) 福岡(14%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前半の主産地である北関東では、台風26号の影響により、傷果が発生し、早めに出荷が終了する見込み。</li> <li>・また、主産地である高知県では、10月中旬以降の曇天等の影響により、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></li> </ul>		
トマト	熊本(38%) 愛知(18%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風26号の影響は軽微であり、生育は概ね順調であることから、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></li> </ul>		
ピーマン	茨城(50%) 宮崎(16%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風26号の影響は軽微であったものの、10月中旬以降の曇天等の影響により、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u></li> </ul>		
ばれいしょ	北海道(96%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収量は概ね平年並であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></li> </ul>		
さといも	埼玉(54%) 千葉(16%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育は概ね順調であり、<u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></li> </ul>		
たまねぎ	北海道(96%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主産地の北海道が生育期の少雨による小玉傾向のため、収量は平年を下回る見込みであるものの、<u>減少分を海外からの輸入するため出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u></li> </ul>	